



山桜

高階西中だより 第16号
平成27年10月14日

川越市立高階西中学校

「新人体育大会 新チームの健闘を讃える!!」

～苦境に立たされたときにこそ真価が問われる～

校長 長井正邦

9月25日から各会場で実施された「新人体育大会 川越市予選及び地区大会」が終了しました。秋雨前線や台風の影響により若干の日程変更がありましたが、各部ともコンディションを維持し、日頃の練習で培った力を存分に発揮することができたと思います。バレーボール部・卓球部・陸上部は、県大会へ出場することになりました。さらなる活躍を期待しています。

さて、今回の大会は、三年生をはじめとする先輩方が築いてきた伝統を継承しながら、二年生を中心とした新チームとして新しい歴史を創りあげていくという意味を持つ大会でした。各会場では、高階西中学校の代表として、全力で競技・応援する姿からたくさんの感動をもらいました。

特に、男子バスケットボール部の試合が印象に残っています。試合は序盤から相手チームのペースで進み、高階西中学校は自分たちの実力を十分に出し切れない展開になってしまいました。終盤には大差がついてしまい、残り時間から考えて勝利することが難しい状況になってしまいました。そんな中、選手は誰一人として諦めることなく、仲間同士で大きな声を掛け合い必死にボールを追いかけてコート走り回っていました。ベンチにいる部員も誰一人として諦めることなく、精一杯の声をコートに選手へ送り続けていました。部員一人一人が、最後の一秒まで、それぞれの立場で「今できる限りのことに集中する姿」が本当に立派で、思わず胸に熱いものがこみ上げてきました。

さらに印象的だったのは、試合後の挨拶やミーティングの態度です。敗戦のショックや悔しい気持ちが入り込んでいるであろうに、部員全員がしっかりとまとまり、顔を上げて大きな声を出して行動していました。その様子を見た他校の顧問の先生が「校長先生、さわやかなよいチームですね。」と声をかけてくれましたので、私は「はい！ 高階西中学校の宝物です。」と答えました。

人は、思い通りにいかないときや苦境に立たされたときにこそ、真価が問われるのだと思います。

- ・下を向いてしまうのか、前を向いて進めるのか。
- ・諦めてしまうのか、挑戦し続けられるのか。

私は、男子バスケットボール部員の姿から「本当の心の強さ」を教えてもらいました。そして、必ず壁を越えて、部が一回りも二回りも成長するだろうと確信しました。期待しています。



主な結果 (個人名は敬称略、五十音順)

野球部	三回戦惜敗 (ベスト8)
サッカー部	一回戦惜敗
男子ソフトテニス部	団体 三回戦惜敗 (ベスト8) 個人 三回戦惜敗 (ベスト8)
女子ソフトテニス部	団体 一回戦惜敗 個人 二回戦惜敗
陸上部	2年 女子100mハードル 2年女子 (県大会出場)
バレーボール部	優勝 (県大会出場)
男子バスケットボール部	一回戦惜敗
女子バスケットボール部	準優勝 (地区大会出場) → 地区大会 一回戦惜敗
卓球部	団体 Aチーム 優勝 (県大会出場)
	〔 2年男子 ・ 2年男子 ・ 2年男子 ・ 2年男子 1年男子 ・ 2年男子 〕
個人	ダブルス 2年男子組 第三位 シングルス 1年男子 第三位 (県大会出場)

【各運動部代表による大会の振り返り】

野球部

2年男子

私たち野球部は、市内ベスト8という結果に満足できませんでした。試合が終わった後、涙を流す人もいました。その涙を忘れずに、学校総合体育大会では絶対県大会に行きたいと思います。そのために、今以上にしっかりと練習に取り組みたいと思います。新人戦の課題は、バッティングでした。あと1本というところで、ヒットが出ませんでした。バッティングに磨きをかけていきたいと思います。守備では、エラーを一つでも減らせるよう強化していきたいです。最後に、先生方、保護者への感謝の気持ちを忘れず県大会に向かってがんばります。

サッカー部

2年男子

サッカー部は、人数が少ないハンディを克服するために、「一人一人の体力をつける」ということを目標にして練習してきました。そのために、校舎の周りを走り込んだり、ボールを使った練習でも走る距離を増やしたり、工夫して練習しました。走り込みはきつくて大変でしたが、部員全員で協力して頑張りました。その結果、以前よりチームワークが向上したと思います。新人戦は、悔しい結果に終わりましたが、チームワークを大切に次の大会ではよい結果が出せるようにしたいと思います。

陸上部

2年男子

今回の新人戦で私達陸上部は、大半の人が悔しい思いをしました。同じような悔しい思いをしないように冬の短い練習時間の中で内容の濃い練習をし、一人でも多くベストが出せるようにしていきたいです。部長として、部全体を今まで以上にしっかりと引っ張っていき、自身も部長の名に恥じない記録を残したいです。最後の大会である学校総合体育大会を部員一同で「最高の大会」にできるように、今回の失敗を改善して生かせるようにしていきたいです。

男子ソフトテニス部

2年男子

今大会で、部が最も成長したと思うことは、各選手の意識と応援するときの態度です。夏の大会での選手は、どこか集中できていない部分がありましたが、今大会ではどの選手も勝ちを目標に集中して試合に臨むことができていました。応援の態度でも、夏の大会では全力で応援できていない人が多かったのですが、今大会は全員が全力で応援することができました。これからの部では、練習メニューなどを見直し、県大会出場を目指して毎日全力で取り組み、次の大会では悔いの残らないようにしていきます。

女子ソフトテニス部

2年女子

今回の大会では、どの試合も接戦でしたが、残念ながら団体は二回戦に進むことができませんでした。でも、他の学校・チームとの差がそれほどないと思えたことが収穫でした。その差をうめて、勝つために何をすればいいのか竹内先生や二年生全員で考えて、あと9か月で上位入賞できるように頑張っていきたいと思います。初めての団体戦で、三試合のうち一つ勝った時、出場した人も出場できなかった人も心が一つになって、みんなで「やったー！」と喜んだ瞬間のあのうれしさは、本当に感動しました。

バレーボール部

2年女子

新人戦を通じて成長したことは、シード決め大会で負けた相手に勝ったことです。全員で心をつにし、一球一球集中してプレーしたことが優勝という結果になったと思います。「点を取られても取り返すという強い気持ち」と「リードしていても油断しないで大事につなぐ」、これがチームとして頑張れたことです。これから、学校総合体育大会で全員が輝けるように、9か月間という長くても短い日々を大切に送っていきたいと思います。部活だけでなく、毎日の生活でもバレー部としてしっかりとやっていきたいです。

男子バスケットボール部

2年男子

新人戦では負けてしまいましたが、試合で大差をつけられながらも、最後まであきらめずにチーム全体で声をかけ合うことができました。次の大会は冬季リーグです。今のままではすぐに終わってしまうと思うので、今までの試合の課題をチームで共有し合っていきたいと考えています。残り9か月で、私たち二年生にとって最後の大会・学校総合体育大会なので、新人戦での悔しさをバネにしてチーム全員で高め合っていきたいです。

女子バスケットボール部

2年女子

新人体育大会でチームが成長したところは、一つ一つのプレーを大切に最後まであきらめずにチャレンジできたところです。どんなに辛くても、チームで声を掛け合って走りきることができました。学校総合体育大会まで9か月という短い期間が充実したものとなるように、チームワークを大切に、皆さんのことにチャレンジしていきたいです。個人としても、チームとしても、大きく成長できるように日々の練習に全力で取り組んでいきたいです。

卓球部

2年男子

私たち卓球部は、三年生が引退してから自分たちの代になっている実感がなかなかわきませんでした。しかし、夏休み後半になると、みんなをまとめてくれていた先輩がいない分、自分たちが協力し合い大会で結果を出さなければならぬという気持ちが強くなりました。新人戦が近づくと、練習でも一人一人が声を出し、競い合い支え合うことができるようになりました。団体で優勝することができたので、まず1月に行われる県大会に全力で挑みたいと思います。そして、二年生にとって最後の大会となる9か月後の学総に向けて、そこで得た経験を生かして頑張っていきたいです。

保護者等の皆様へ 大会の応援・参観ありがとうございました!!